



ご当地 **ふ坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.607

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

February
2020
令和2年

2





Contents

デンタルアイ	1
海老原 一芳	
理事会報告	4
会務日誌	6
学術委員会だより	8
地域保健委員会だより	10
学校歯科委員会だより	22
専門学校だより	23
地区歯科医師会だより	24

表紙写真について

ニュージーランド
名峰マウント・クック (3,724m)
超望遠の撮影での山頂です (504倍)
(社) 茨城県南歯科医師会 斉藤 澄夫

キャッシュレス化について



会 計
海 老 原 一 芳

この度、昨年6月から茨城県歯科医師会の会計を拝命いたしました。前任者の小林先生、森永会長はじめ副会長、理事・監事の先生方、事務局の方々にご指導いただき勉強させていただいております。何卒よろしくお願いいたします。

初めてのデンタルアイで何を書いたらいいのか思案していたところ、年末、家内との食料品の買い出しに行った際、どこのお店でもというくらい「PayPay」の表記がありました。それを見て、キャッシュレス化の話を書かせていただくと考えました。

2019年はキャッシュレス元年と言われていました。数年前からクレジットカードによる支払いも増えていましたが、最近は交通系をはじめとする電子マネーが増加しはじめ、ここ1、2年くらいは〇〇payがかなりの種類出てきました。

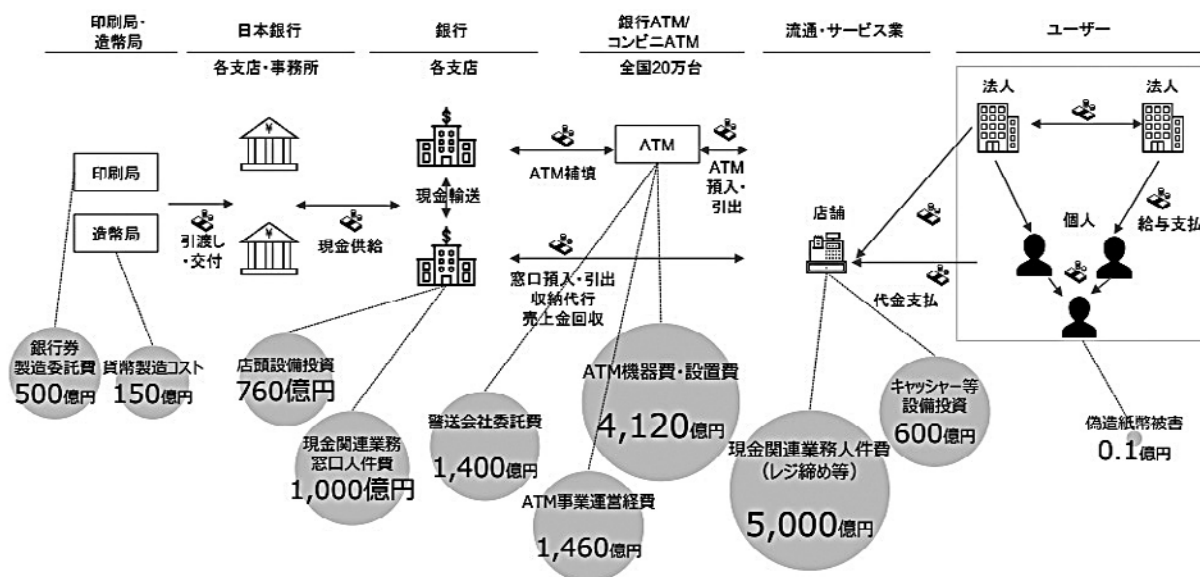
国の方も、今年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を経て国内の外国人がさらに増えていくことを予想し、「2015年時点で2割ほどだったキャッシュレス決済比率を、2025年には倍の4割に」ということを掲げて明確化し、消費税を10%にあげる際にいろいろ支援制度・還元事業を打ち出して来ました。

自分で使うものとしては銀行のカードを利用したデビットカードとクレジットカードが挙げられます。国の還元事業では、キャッシュレス決済すると購入金額の5%の還元（コンビニなどのフランチャイズチェーン店は2%還元）というものがあります。電子マネーでは支払いに使ったのち2週間から1カ月程度で支払った分の2%分のポイントを還元してくれるようです。クレジットカードは5%還元を謳っているものが多いようですが、クレジットカードの会社を限定されたりして今一実感がありません。私がカードなどを使う理由としては、小銭の出し入れがいらないということと、通帳もしくは明細書のおかげで事業主としての領収書の整理が楽になるという理由が大きいです。

面白い図を見つけました。経済産業省からで、キャッシュレスが進まないことによるデメリットだそうです。

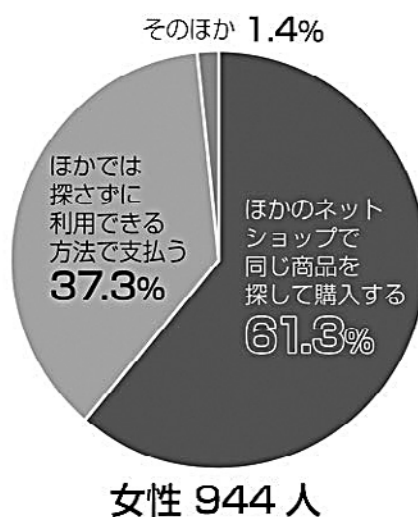
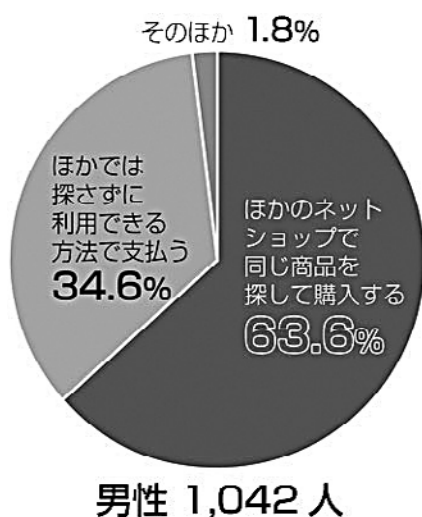
この図の中心から右寄りに「現金関連業務人件費 5000億円」というのがありますが、5000億円は大げさとは思いますが、確かに手間はかかっていると思います。ただ、この手間は全部キャッシュレスにしない限りは変わらないと思われます。また、意外とどこにも書かれていませんが現金の方が楽とおもわれる作業に「返

現金決済インフラの直接的な社会コスト(年間)



金」があります。計算ミス、操作ミス、クレームによる返金などが考えられますが、キャッシュレス化した時の一番の手間かもしれません。ちょっと気が進まないところもありますが、国が進め消費者側もキャッシュレス化に進んで行くとすれば、事業主としては国の還元事

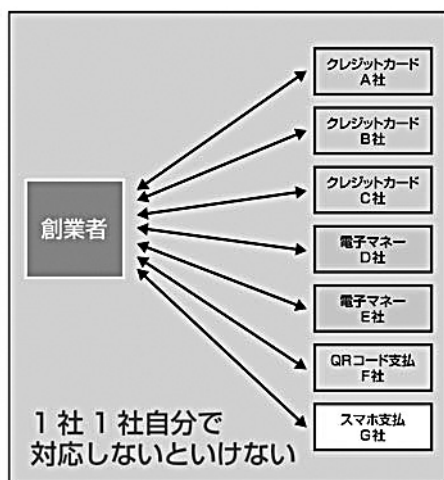
業などがある間にキャッシュレス化を考えるとということも必要かもしれません。次のグラフはSBペイメントサービス株式会社が調べたアンケート結果で「オンライン決済において希望の決済手段がない場合、約60%のユーザーが離れてしまう」という結果が見られます。



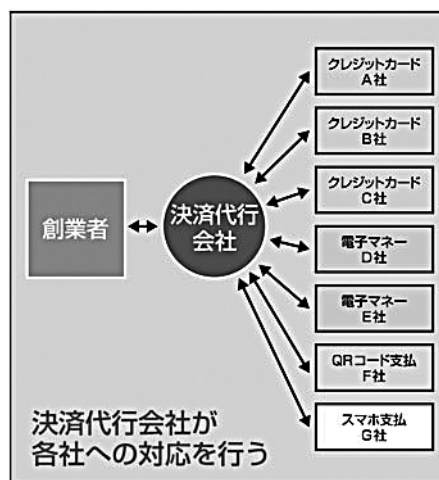
私としても、このアンケート結果に共感するものはあります。デメリットもあるとは思いますが事業主側のキャッシュレス化についても考

えてみようと思います。まずキャッシュレス決済の際の事業者の選定ですが、大きく分けると以下の2通りがあります。

●自分で契約・運用する場合



●決済代行会社にまかせた場合



国の還元事業に、「決済手数料の3分の1を国が払う」という事業があり、これの申請が今年4月末までとなります。今年6月までの短期の事業です。左の図のやり方だと各会社に申請が必要になりますが、右の図のやり方の場合決済代行会社にその申請を行ってもらえます。その点でもその他の契約などについても代行会社を通した方がメリットがいろいろあるようですが、代行会社をつかう理由の一番はカードの種類が多数あっても端末は1台で済むところだと思います。

代表的なものにTVCMでおなじみのAir○○○があります。振込手数料、月額固定費、カードリーダー、iPadなどが今は0円ということ、多数のカード、電子マネーが使える、先の還元事業の手続きもしてもらえます。注意は、利用実績の確認が取れない場合はカードリーダー、iPadの費用を後から払わなければいけないところです。

キャッシュレス化にのっていくのは大事とい

う話ですが、決済代行業者は多数ありますので、使われる場合はよく検討して導入してください。

最後にちょっと税金のお話です。税理士さんなどから説明があるかもしれませんが、令和2年度から給与所得控除と基礎控除が改定されます。基礎控除は10万円引き上げの48万円となりますが、所得が2400万円から控除金額は減りはじめ2500万円を超えると基礎控除0円になります。その他では給料所得控除の見直し、所得金額調整控除の創設、配偶者・扶養親族などの合計所得金額要件の見直しなどがあります。確認よろしくお願いいたします。

キャッシュレス化もそうですが、これからマイナンバーカードについてもいろいろ進んでいくようです。

なかなか頭が追いついていきませんが、キャッシュレス化など賢く利用していければと思います。思いこでお話させて頂きました。

理事会報告

第10回理事会

日 時 令和元年12月26日（木）16時00分

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

報告者 柴岡永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 監査報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払について

鹿行地区 1名 77日

水戸地区 1名 9日

(5) 令和元年度茨城県よい歯の学校表彰について

(6) 関東地区歯科医師会役員連絡協議会から日本歯科医師会への要望書の提出について

(7) いばらき嚙下フォーラム後援名義の使用許可について【いばらき嚙下フォーラム】

(8) 後援名義の使用許可について【県言語聴覚士会】

(9) 労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービスの稼動について

(10) 委員会報告

学術委員会、医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込書の受理について

秋月 亮先生 つくば地区 1種
昭和大歯 承認

(2) 令和2年度委員会事業計画及び事業予算(案)について 承認

(3) 第24回日本歯科医学会学術大会への公募セッション、担当役職員の選出について 応募はしない 担当 今湊理事（学術）、人見（事務局）

(4) 令和元年度事業費補助のお願いについて【茨城県女性歯科医師会】 承認

(5) 台風災害への対応について 承認

(6) 保団連第49回定期大会へのメッセージ・祝電のお願いについて【全国保険医団体連合会】

今回見送ることで承認

(7) その他

○令和2年度診療報酬改定日程について

○日本歯科医師連盟第7回理事会報告

○行事予定について

1月16日(木)

14時から 第11回理事会
水戸プラザホテル

16時から 新年会
水戸プラザホテル

2月20日(木)

16時から 第12回理事会
県歯科医師会館

※茨城県歯科医師会事務局の年末・年始の休業
仕事納め……令和元年12月27日(金)

午後5時30分

年末年始休業期間……

令和元年12月28日(土)～

令和2年1月4日(土)

(1月5日(日))

仕事始め……令和2年1月6日(月)

午前8時30分

・12月28日(土)の事務局の事務取扱時間(電話当番)は8時30分から12時30分まで。



株式会社 岩瀬歯科商会



イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**



これまでも、これからも、いっしょに
Iwase Dental Supply Inc. 1994-2019

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

■ 社名 株式会社 岩瀬歯科商会

■ 代表取締役 岩瀬 浩二

■ 本社 栃木県宇都宮市白梅2-8-18

■ 電話 047-345-3131

■ 代表取締役 岩瀬 浩二

■ 代表取締役 岩瀬 浩二

製造販売・製造

株式会社モリタ東京製作所

本社 東京都品川区大崎1-1-24 TEL 048-382-1315

伊東工場 埼玉県北足立郡伊東町小室7129 TEL 048-723-2621

発売

株式会社モリタ

大阪本社 大阪府吹田市東水区3-33-18 TEL 06-6380-2525

東京本社 東京都台東区上野2-11-18 TEL 03-3834-8161

事業所案内

支店名	住所	TEL
本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

会務日誌

- 12月15日 口腔ケア講習会をつくば市役所にて開催し、「口腔健康管理の基礎」の演題で、歯科衛生士による実技指導を交えて、加園真樹介護保険委員が講演を行った。
受講者 33名
- 12月17日 摂食嚥下研修会を開催。「摂食嚥下機能評価の方法」と題して研修を実施した後、事例検討の参加型ディスカッションを行い、全6回のコースを終了した。
受講者 61名
- 12月19日 新規指定の個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 4
- 12月19日 第9回日歯理事会が日歯会館にて開催された。
出席者 森永日歯代議員会議長ほか1名
- 12月19日 第9回広報委員会を開催。会報1月号の校正、校正スケジュールの確認、会報2月号の編集について協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 12月21日 茨城災害リハビリテーション支援協議会（茨城JRAT）発足記念会が県立医療大学にて開催された。
出席者 森永会長
- 12月25日 県地域・職域連携推進協議会が水戸合同庁舎にて開催され、地域・職域連携推進事業ほかについて協議が行われた。
出席者 森永会長
- 12月26日 第3回業務・会計監査を執行。業務（9月1日～11月30日）、会計（令和元年度現況）について監査を実施した。
出席者 鈴木監事ほか7名
- 12月26日 第10回理事会を開催。入会申込書の受理、令和2年度委員会事業計画及び事業予算（案）、第24回日本歯科医学会学術大会への公募セッション及び担当役職員の選出、事業費補助のお願い（茨城県女性歯科医会）、台風災害への対応、保団連第49回定期大会へのメッセージ・祝電のお願いについて協議を行った。
出席者 森永会長ほか17名
- 1月 8日 新春の幕開けを祝う茨城新聞社主催「千鳥会」が水戸プラザホテルにて開かれた。
出席者 森永会長ほか1名
- 1月 9日 第7回地域保健委員会を開催。噛むかむレシピコンテスト審査会準備、今後の事業、スケジュールの確認等を行った。
出席者 北見地域保健部長ほか5名

- 1月 9日 「噛むかむレシピコンテスト審査会」を開催。噛む大切さを啓発するため、おいしくて噛む回数が増えるレシピを公募し、小学生以下の部212件、中学生・高校生の部315件、一般の部86件の応募レシピに対し審査を行った。
- 出席者 中川学園調理技術専門学校料理教室代表ほか8名 森永会長ほか9名
- 1月10日 オンライン資格確認システム説明会関東信越ブロック会議がさいたま新都心合同庁舎にて開催された。厚労省担当者からの医療保険のオンライン資格確認の概要についての説明の後、質疑応答・意見交換が行われた。
- 出席者 大字常務ほか2名
- 1月10日 県警察視閲式が県警察学校にて行われ、交通機動隊白バイ操輪訓練等のアトラクション、部隊行進等のデモンストレーションが行われた。
- 出席者 森永会長
- 1月10日 県医師会の新年賀詞交歓会が水戸プラザホテルにて行われた。
- 出席者 森永会長ほか1名
- 1月14日 内外情勢調査会1月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長



第23回日本顎顔面インプラント学会総会・ 学術大会に参加して

学術委員会 毛利 環

第23回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会、18th Annual meeting of Pan Pacific Implant Society (PPIS) が2019年11月30日、12月1日に茨城県つくば市のつくば国際会議場において東京医科大学茨城医療センター教授・松尾朗大会長、茨城県歯科医師会共催、茨城県歯科医師会会長・森永和男副大会長にて開催された。茨城県で初めて開催されたインプラント関連学会とのことである。本大会は、さらに安全なインプラント治療の確立を目指すことを主題にして、大会テーマは「リスクからの開放：2019インプラントの旅」と名付けられ、初日にOregon Health Science UniversityのAllen Cheng 先生に国際招待講演を頂いた。また、両日にわたったシンポジウム1～4は、「インプラント治療の医療安全教育」、「Digital Dentistry：現状と将来への期待」、「全身の骨代謝とインプラント」、「広範囲顎骨支持型装置および補綴の機能評価」のそれぞれのトピックスによるテーマで、3～4名のシンポジストによる講演と活発なディスカッションが行われた。

我が国のインプラント学会としては、主として口腔外科系の本学会である日本顎顔面インプラント学会と、主に補綴や開業歯科医が多い日本口腔インプラント学会という2つの学会があり、それぞれに棲み分けし補填しあう関係である。さらに現在、厚生労働省も交えて広告標榜できる専門医

制度の確立に向けて両学会で協議中とのことである。また今回の大会開催にあたっては、茨城県病院歯科医会の先生方が大会運営のみならず発表にも大活躍されておられた。また、今回の学会では安全なインプラント治療を茨城県内の一般歯科の先生方にも普及すべく、学会として初めての試みであるインプラントビギナーのための基礎講座（有料）が開催された。2日目の朝から夕方まで連続した基礎講座1～5での各分野のエキスパートによる集中講義は大変密度の濃い内容であった。

今回の特別講演は有名な薬害エイズ訴訟で患者側弁護の指揮をとられた杉山真一弁護士による



「生物由来製品の安全性・患者のQOLと安全性～薬害エイズに学ぶ～」であった。判断が難しい局面でおきた事件の経過を時系列でわかり易くご説明いただき、生物由来製品に関連が深いインプラントや口腔外科分野のみならず、われわれ一般歯科治療においても教訓とすべき事件であり、先生が強調されたのは当時少数ではあったが適切な判断を行って薬剤を選択した医師もいた事実で、重要な判断を行う責務が個々の医師／歯科医師にも常にあることを改めて真摯に考えさせられた。この特別講演は、今大会ならではの企画で、本学会

ハイライトとも感じさせる内容と反響であった。

その他の県歯会関係では、口腔外科系のインプラント学会ということもあって、大会長以下の東京医科大学茨城医療センターをはじめ、茨城県病院歯科医会会長・萩原敏之先生の石岡第一病院、筑波大学、霞ヶ浦医療センター、小山記念病院、つくばセントラル病院などの病院口腔外科の先生方が多くの発表をされていた。最先端の歯科技術のひとつであるインプラント学についても、この学会を機に茨城県でますます定着していくであろうことを確信した。

公益財団法人8020推進財団学術集会 第17回フォーラム8020に参加して

地域保健担当理事 北見 英理

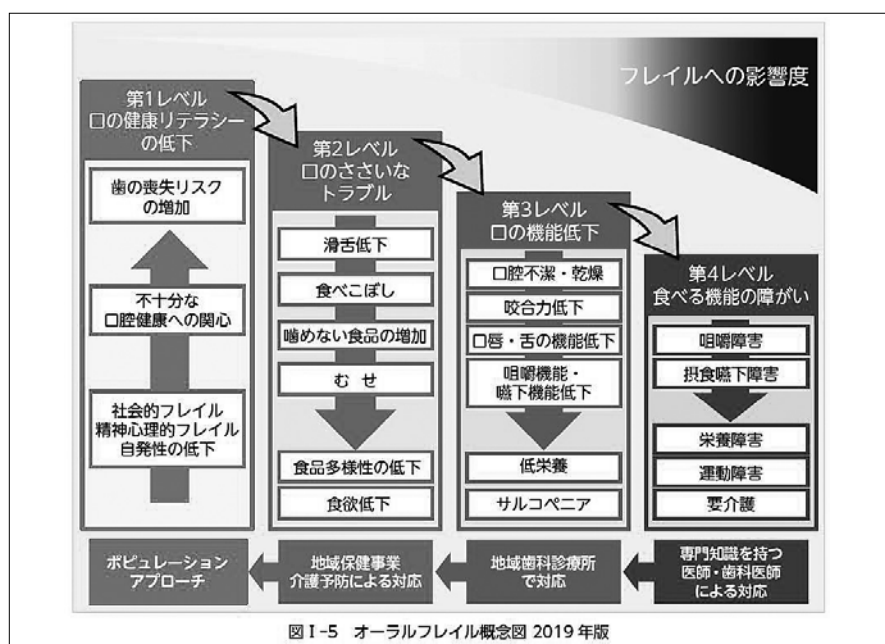
令和元年12月7日（土）、日本歯科医師会館において、公益財団法人8020推進財団学術集会第17回フォーラム8020（公益財団法人8020推進財団主催）が「オーラルフレイルの予防と対策、更なる推進に向けて」をメインテーマに開催され、藤田コーディネーター（8020・6424情報センター）と私が参加しましたので報告いたします。

●挨拶 理事長 堀憲郎

平成元年に始まった8020運動は、昨年30周年を迎え、さまざまな記念事業に取り組んできた。日本歯科医師会制作の映画「笑顔の向こうに」がモナコ国際映画祭でグランプリを受賞したことや、平成30年12月に行った記念シンポジウムについて

触れ、「シンポジウムの中で、8020運動の今後の展開について多くの議論が交わされた。特に国が重要な課題としている介護予防とフレイル対策に密接に関わるオーラルフレイルにスポットが当たった」と述べた。

さらに、「当財団がかねてから8020運動にオーラルフレイル対策の考え方を入れてさまざまな活動を進めてきた結果として、骨太の方針2019では、これまでの歯科の記載に加えて、フレイル対策への歯科・口腔からのアプローチが明記された」と語り、本年のフォーラムでは、この大きな流れを踏まえて議論を深めてほしいと締めくくった。



●基調講演

○その1

演題：フレイル最前線「健康長寿 鍵は“食力”」—国家戦略としてのフレイル予防・オーラルフレイル予防—

演者：東京大学高齢社会総合研究機構 教授
飯島勝矢

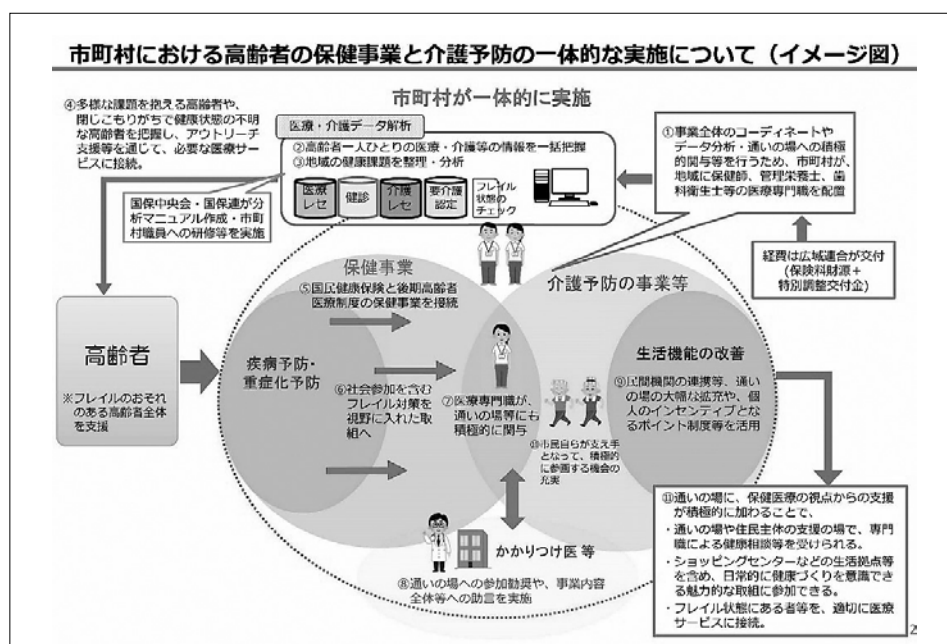
内容：超高齢社会に向かう中で、フレイル（虚弱）及びその根底をなすサルコペニア（筋肉減弱）への対策は大きな課題があり、なかでも高齢者における食の安定性を再考する必要がある。それは健常なうちからの食への意識、そして重度要介護者への食支援まで、幅広いステージに対する一連の底上げが求められている。演者が仕掛けている大規模縦断追跡コホート調査の結果から、早期の所見として歯科口腔分野の軽微な機能低下や食の偏りも認められた。

それらのエビデンスも踏まえ新概念「オーラルフレイル」を打ち立て、高齢者の食力向上のために今まで以上に総合的な機能論でこだわりたい。

また、新政策「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に向け、2020年春に全国自治体へ一斉実施に向けて準備が始まっている「フレイル健診」導入への流れがある。地域での集

いの場であってもフレイルの視点に立った簡易チェックが実施できるようにし、かつ各自治体が保有している既存データベース（KDB等）も活用したリスク保有者の炙り出しも積極的に行い、しかるべき適切なサービスにどのように載せることが出来るのが課題となる。その中でもオーラルフレイルを意味する内容まで盛り込まれる流れとなっており、地域全体でいかに口腔機能維持への共通認識を構築できるのが鍵である。

キーワードは「まちづくり」「市民主体」「集いの場を気づきの場へ」であり、現在68自治体で実施しているフレイルチェック事業（市民同士でフレイルの危険度をチェックし合い、集いの場で学び合うフレイル予防プログラムのこと。運営は、一定の研修を受けた「フレイルサポーター」と呼ばれるその地域に暮らすシニアで、市民による市民のためのフレイル予防という趣旨に賛同してくださった方々により行われている）を紹介する。さらに、フレイルと認知症予防で3兆円が抑制できるとの経産省の試算や、東京都N市で歯科健診を定期的に受けている群・受けていない群を比較して、フレイル発症に差が生じている研究結果なども示された。



○その2

演題：「オーラルフレイル最前線」

演者：東京都健康長寿医療センター 歯科口腔
外科部長 平野浩彦

内容：オーラルフレイルの概念をメタボリック
シンドロームに例えて、『第1レベル：「口腔
保健リテラシーの低下」が「過食・運動不足な
ど」に該当する』、『第2レベル：「口のささ
いなトラブル」が「腹囲（肥満）」に該当す
る』、『第3レベル：今回病名となった「口腔
機能低下症（口の機能低下）」が「高血圧・糖
代謝異常・脂質代謝異常」に該当する』、『第
4レベル：「摂食嚥下障害（食べる機能の障が
い）」が「心筋梗塞、脳梗塞など」に該当す
る』と説明し、特に第2レベルの「口腔機能
のささいな衰えを見逃さない」ことが、オーラ
ルフレイルで最も大切なことであると語った。

また、平成30年度診療報酬改定に入った第3
レベルの「口腔機能低下症（口の機能低下）」
にも触れ、口腔機能低下症の診断基準・7つの
下位症状を示し、地域歯科医院での対応につい
て解説した。

●行政報告

演題：「2040年度を見据えて、今後の歯科保健
の在り方」

演者：厚生労働省 医政局 歯科保健課
歯科口腔保健推進室長 宮原勇治
厚生労働省 老健局 老人保健課
医療・介護連携技術推進官 田上真理子

内容：人生100年時代の到来を見据え、国民が全
ての年代において健康で活躍し安心できる全世
代型の社会保障が求められている。特に、2040
年頃には現役世代が急激に減少するため、いか
に社会全体の活力の維持・向上を図っていくか
が重要な課題となっている。こうした課題に対
しては、高齢者を含めた多くの人々が社会で役

割を持って活躍するような多様な就労や社会参
加が可能となる環境整備を進めることが必要で
あり、その前提として、特に、疾病予防・重症
化予防、健康づくり等の取組を強化して健康寿
命の延伸を図ることが求められる。

本年6月21日閣議決定された「経済財政運営
と改革の基本方針2019（骨太の方針2019）」に
おいては、高齢者一人一人に対してフレイルな
どの心身の多様な課題に対応したきめ細やかな
保健事業を行うために、運動、栄養及び社会参
加などの観点だけでなく、口腔の観点からも市
町村における保健事業と介護予防の一体的な実
施を推進する旨が示された。推進を図る上での
課題として、口腔の健康と全身の健康に関する
エビデンスの信頼性の向上、重度歯周病者の増
加、定期歯科健診受診率が50%程度、歯の維持に
加え口腔機能の維持、75歳以上の外来受診率が
歯科だけ下がることなどが挙げられた。

●学術講演 高齢者歯科研究最前線

○その1

演題：「口腔機能評価法」

演者：東京医科歯科大学大学院

地域・福祉口腔機能管理学分野 教授
古屋純一

内容：高齢者歯科を担当していると、最近、多
職種協働の一環として口腔機能の問題に対応す
る機会が増えていると感じる。口腔機能の統合
的結果である咀嚼嚥下機能は、高齢者では低下
しやすく、食事は日常の営みであることから、
生命や生活の問題にも直結しやすい。今後の地
域包括ケアにおける歯科の役割は、口腔機能を
適切に管理し、多職種協働による総合的なケア
の中で生命活動や生活を支援することである。
歯科医師への期待が高いのは、義歯や咀嚼に関
する困りごとを治療により解決できる唯一の職
種だからである。

高齢者の口腔機能管理は訪問診療を中心に行われてきたが、今後は歯科の外来でも積極的に行うことが求められている。一部の疾患を除けば、高齢者は突然要介護になり、口腔機能が低下し、突然訪問診療の対象になるわけではない。そのため、外来診療と訪問診療がつながっていることを強く意識し、外来から訪問へと続く一連のオーラルフレイルへの対応によって、高齢者の口腔機能を地域全体で支えることが重

要である。摂食嚥下障害の最大の対応は要介護状態を予防することが最も効果的であり、外来で口腔機能を管理するために口腔機能低下症という病名が平成30年度の保険診療に導入されたのである。

本講演では、口腔機能管理の基本となる口腔機能検査法と口腔機能評価法について揭示する。



図Ⅲ-1 口腔機能評価は多面的
出所：東京医科歯科大学・古屋純一 作図



図Ⅲ-2 口腔機能評価の実際
出所：東京医科歯科大学・古屋純一 作図

○その2

演題：「口腔リハビリテーション」

演者：藤田医科大学医学部

歯科・口腔外科学講座 教授

松尾浩一郎

内容：人にとって食べることは生命維持機能の1つというだけでなく、根源的な喜びでもあります。摂食嚥下リハビリテーションを経口栄養摂取の回復だけとして考えると、「嚥下」機能の回復だけを考慮すればいいのかもしれませんが、しかし、食を楽しむ、というQOLを見据えた食べる機能の維持回復を目指すならば、「咀嚼」を考慮しなければなりません。咀嚼運動は、単なる下顎の開閉口運動ではなく、舌や舌骨、頬などの硬・軟組織の協調運動によって行われています。口腔関連筋群の筋力低下や唾液分泌の減少など、口腔機能の低下が進行すると、必然的に咀嚼機能が障害されます。そこに、フレイル、サルコペニアや疾患が重積されると、明らかに食べる機能の障害が出現します。これを放置すると、フレイルサイクルに入り、最終的に重篤な咀嚼嚥下障害や栄養障害などの転帰に陥ります。咀嚼機能を意識した口腔リハビリテーションを行うことで、咀嚼嚥下機能の回復だけでなく、ADLの回復にもつなげることができます。

オーラルフレイルの「第4レベル 食べる機能の障がい」は、摂食嚥下機能低下や咀嚼機能不全から、要介護状態、運動・栄養障害に至る段階で、「摂食嚥下機能障害」として診断がつく段階であり、このレベルへの対応は、摂食嚥下リハビリテーションとしてすでに標準化された評価及び対応が整備されています。したがってこのレベルの対象者は、専門的な知識を有した医師、歯科医師などが対応します。

●実践報告 オーラルフレイルの取り組み最前線

○その1

演題：地域での実践「健康長寿に向けたオーラルフレイルの予防と改善」

演者：一般社団法人神奈川県歯科医師会

常務理事 佐藤哲郎

内容：県で行っている「口腔ケアによる健康寿命延伸事業」や海老名市での「オーラルフレイル改善プログラム」などについて説明。口腔機能を中心とした健診と短期プログラムによりオーラルフレイルの改善効果が見られたと報告した。

2016年：65歳以上の高齢者に口腔機能を中心とした健診を実施した。オーラルフレイル該当者は、43.4%と予想を大きく超える結果であった。

2017年：前年度のオーラルフレイル該当で歯科医院通院者から無作為に抽出し、3か月間のオーラルフレイル改善プログラムを実施した。その結果、172名中97名に改善が認められた。

2018年：海老名市の65歳以上で歯科診療所に通院する848名の口腔機能を中心とした健診を実施し、オーラルフレイル該当者172名に対して、1か月間のオーラルフレイル改善プログラムを実施した。その結果、97名（53.4%）が改善した。

○その2

演題：「オーラルフレイル気づきプログラム」

演者：サンスターグループ新規事業開発プロジェクトリーダー 梶山浩司郎

内容：このプログラムは歯を残すためのケアに加えて、口腔機能を維持するケアの重要性とその方法を網羅しており、通常のセミナー形式にとどまらず、オーラルフレイルリスクチェックやパタカチェックを自ら行うことによる自分事化、How toを一人ひとりに向き合いながら行

動へのモチベーションを高めることに重点を置いています。プログラムの実施者としては、歯科衛生士のみならず、薬剤師や保健師といった地域包括ケアで重要となるコメディカルの方々も想定し、歯科医療者以外の方々にも伝道師になっていただけるものを目指しています。※詳細は、HP参照（漫画ビデオ、パタカチェックアプリなど有）

●日本歯科医師会報告

演題：「オーラルフレイルへの取り組み」

演者：公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
小玉剛

内容：2012年：飯島勝矢先生を講師に招いた役員勉強会の開催をきっかけとして、オーラルフレイルの検討を始めた。

2016年：堀憲郎執行部が発足し、オーラルフレイルへの取り組みが加速した。

2018年4月：口腔機能低下症という病名が保険導入された。

2018年10月：厚生労働省医政局歯科保健課より「後期高齢者を対象とした歯科健診マニュアル」が発出された。

2018年12月：オーラルフレイルの国民向けリーフレットを配布した。

2019年：「歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版」を発行した。

最後に、「通いの場」での住民の気づきに歯科専門職として関わり、歯科健診での口腔の衰えの早期発見、歯科診療所での口腔機能低下の診断といった一連の対応が求められていると訴えた。

講演に続いて行われた総合シンポジウムでは、最後に飯島先生が、次なる未来をどのように作っていくのか？新しい時代に入る。キーワードは、「国家戦略」「食の支援」「総合力」「まちづくり」である。「食の支援」も医師・歯科医師・保健師・栄養士などすべての職種が関わり、研究者や行政なども含めたそれぞれのデータベースをまとめて活用し、エビデンスベースで進めることが必要である。健康長寿のための3つの柱「栄養（食と口腔）・運動・社会参加」に対して、顕著なフレイルになる前から意識変容を促す必要がある。フレイル予防はまさに「総合知によるまちづくり」そのものであり、今まさに国家戦略の一つになりつつある。さらに、専門職だけではなくメディアや産業界などと協働してフレイル対策を発信し、いかに国家プロジェクトとして位置づけ、いかに国民にしっかりと落とし込み根付く運動（ムーブメント）としていくのかであると語った。

このフォーラムに参加して感じたことは、2020年度から全国の市町村で実施される「フレイル健診」の中にもオーラルフレイルを意味する内容が盛り込まれるので、歯科医師も口腔機能評価だけでなく社会性の虚弱（ソーシャルフレイル）も含めた「多面的なフレイルの一連のアプローチ施策」が必要であること、そして国民にオーラルフレイルを定着させる絶好の機会であるので我々歯科医師にエールを送られているように思えた。

（詳細については「歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版」をご覧ください）日本歯科医師会H.P 歯科医師のみなさま→オーラルフレイル (https://www.jda.or.jp/dentist/oral_flail/) からダウンロードできます。



＜質問票の内容について＞

類型名	No	質問文	回答
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ※さきいか、たくあんなど	①はい ②いいえ
	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
体重変化	6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの 物忘れがあるとされていますか	①はい ②いいえ
	11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい ②いいえ
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
ソーシャルサポート	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ

令和元年度学校保健統計調査速報（歯科部分抜粋）

(男女合計)

区分	歯・口腔										歯・口腔										歯・口腔																			
	むし歯(う歯)				歯肉の状態	歯垢の状態	顎関節	歯列・咬合	むし歯(う歯)				歯肉の状態	歯垢の状態	顎関節	歯列・咬合	むし歯(う歯)				歯肉の状態	歯垢の状態	顎関節	歯列・咬合	むし歯(う歯)				歯肉の状態	歯垢の状態	顎関節	歯列・咬合								
	計	完処	ある処	未ある処					計	完処	ある処	未ある処					計	完処	ある処	未ある処					計	完処	ある処	未ある処												
幼稚園 小 学 校	5歳	31.16	12.00	19.15	4.29	0.07	0.92	0.19	2.51	32.57	12.76	19.80	4.00	0.07	1.02	0.23	2.53	29.70	11.22	18.48	4.58	0.08	0.14	2.50																
	計	44.82	23.08	21.74	5.04	0.13	3.14	1.99	6.87	46.31	23.77	22.53	4.83	0.13	3.65	2.21	6.90	43.25	22.35	20.91	5.25	0.14	1.75	6.85																
	6歳	40.24	16.85	23.39	3.09	0.08	1.25	0.60	6.16	41.57	17.43	24.15	2.76	0.09	1.26	0.60	6.10	38.84	16.24	22.60	3.43	0.07	1.24	6.22																
	7歳	46.78	22.40	24.38	4.85	0.09	2.44	1.36	5.51	47.91	22.68	25.23	4.60	0.08	2.64	1.42	5.62	45.60	22.11	23.49	5.11	0.10	2.22	5.39																
	8歳	51.05	26.67	24.37	5.56	0.15	3.25	1.98	5.46	51.94	27.14	24.80	5.34	0.17	3.72	2.18	5.24	50.11	26.19	23.92	5.80	0.13	2.77	5.69																
	9歳	50.39	27.40	22.99	5.47	0.14	3.73	2.41	7.32	52.45	28.43	24.02	5.35	0.14	4.42	2.68	6.86	48.24	26.33	21.91	5.60	0.14	3.02	7.80																
	10歳	44.88	24.92	19.96	5.43	0.15	3.93	2.67	8.66	47.24	26.17	21.07	5.25	0.13	4.64	2.98	8.67	42.42	23.61	18.80	5.62	0.16	3.20	8.65																
	11歳	35.66	20.05	15.61	5.73	0.19	4.12	2.82	8.01	36.82	20.61	16.21	5.58	0.15	5.10	3.32	8.76	34.44	19.46	14.98	5.89	0.24	3.09	7.23																
	計	34.00	19.78	14.22	5.36	0.40	4.50	4.21	3.90	32.74	18.51	14.23	5.21	0.33	5.61	5.17	4.33	35.31	21.10	14.22	5.52	0.47	3.34	3.45																
	12歳	31.76	18.69	13.07	5.27	0.34	4.38	3.78	5.49	31.01	17.85	13.16	5.16	0.31	5.44	4.63	6.16	32.54	19.56	12.98	5.38	0.37	3.28	4.79																
中学校 高 等 学 校	13歳	33.20	19.44	13.76	5.44	0.41	4.41	4.31	3.61	31.86	18.16	13.70	5.29	0.34	5.47	5.26	4.04	34.60	20.79	13.81	5.59	0.49	3.29	3.16																
	14歳	37.00	21.18	15.82	5.38	0.44	4.71	4.53	2.60	35.32	19.53	15.80	5.19	0.33	5.92	5.63	2.79	38.75	22.91	15.84	5.58	0.55	3.46	2.41																
	計	43.68	26.36	17.33	4.53	0.62	4.76	4.35	1.13	41.91	24.16	17.75	4.45	0.51	5.95	5.56	1.11	45.50	28.60	16.90	4.61	0.73	3.55	1.14																
	15歳	39.43	24.24	15.19	4.65	0.56	4.81	4.27	1.24	37.57	22.23	15.34	4.51	0.46	5.97	5.43	1.25	41.34	26.30	15.04	4.79	0.67	3.63	1.22																
	16歳	43.69	26.24	17.46	4.40	0.62	4.78	4.41	1.06	42.03	24.18	17.86	4.36	0.50	5.99	5.64	1.07	45.39	28.35	17.05	4.43	0.74	3.54	1.04																
	17歳	47.95	28.60	19.35	4.54	0.66	4.70	4.38	1.08	46.16	26.10	20.06	4.47	0.56	5.88	5.60	1.01	49.78	31.16	18.62	4.60	0.77	3.49	1.15																
	計	34.00	19.78	14.22	5.36	0.40	4.50	4.21	3.90	32.74	18.51	14.23	5.21	0.33	5.61	5.17	4.33	35.31	21.10	14.22	5.52	0.47	3.34	3.45																
	12歳	31.76	18.69	13.07	5.27	0.34	4.38	3.78	5.49	31.01	17.85	13.16	5.16	0.31	5.44	4.63	6.16	32.54	19.56	12.98	5.38	0.37	3.28	4.79																
	13歳	33.20	19.44	13.76	5.44	0.41	4.41	4.31	3.61	31.86	18.16	13.70	5.29	0.34	5.47	5.26	4.04	34.60	20.79	13.81	5.59	0.49	3.29	3.16																
	14歳	37.00	21.18	15.82	5.38	0.44	4.71	4.53	2.60	35.32	19.53	15.80	5.19	0.33	5.92	5.63	2.79	38.75	22.91	15.84	5.58	0.55	3.46	2.41																
区分	永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数										永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数										永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数																			
	計				むし歯(う歯)				計				むし歯(う歯)				計				むし歯(う歯)				計				むし歯(う歯)											
	(本)				(本)				(本)				(本)				(本)				(本)				(本)				(本)											
計	0.70				0.01				0.69				0.45				0.24				0.77				0.01				0.76				0.50				0.26			
12歳	0.70				0.01				0.69				0.45				0.24				0.77				0.01				0.76				0.50				0.26			



【茨城大学教育学部附属中学校実習】

12月11日（水）茨城大学教育学部附属中学校にて、中学1年生を対象に歯科衛生士科3年生の歯科保健指導実習が行われました。

歯科検診表をもとに指導計画案作成をし、思春期である中学生に、歯科保健指導を行いました。個別指導で生活習慣、間食の有無や歯みがき方法等について把握すると同時に中学生とのコミュニケーションを図りながら、歯科保健指導を進めていくと徐々に活気がでてきました。40分間の個別指導はあっという間に過ぎていき、口腔衛生読本、顎模型を使用して最後までしっかりと指導を行っていました。

学生は、これまで保育園、幼稚園・小学校と様々な歯科保健指導実習の経験を積んできた中で、中学生になると口腔内状況や生活習慣にも個人差が出てくることを理解したのではないかと思います。



す。実習終了後の中学生のアンケートによれば、ブラッシングをすることの大切さや、日々の生活習慣がどのように健康に関わってくるかを理解してもらえたようです。

春から歯科衛生士として働く立場となった時には、今回の実習での経験を活かしてくれることを願います。

（文責 佐々）



◆◆◆ 水戸市歯科医師会 学術講演会のご案内 ◆◆◆

今回は、水戸市大工町の茨城県立睡眠医療クリニックで多くの患者さんたちを診療されている、近藤英明先生、武井泰彦先生にお話し頂けることになりました。健康な生活に欠かせない「睡眠」について基本的なことから学ぶ機会となります。ぜひご聴講いただけますようお願い致します。

演 題：睡眠時無呼吸症候群—あなたの眠りは良い眠りですか？—

武井 泰彦 先生

口腔内灼熱症候群における睡眠障害

近藤 英明 先生

日 時：令和2年3月1日（日） 10：00～13：00

場 所：茨城県歯科医師会館 3 F 講堂

◆◆◆ 講師 ご略歴 ◆◆◆

武井 泰彦 先生

1983年 獨協医科大学卒業

獨協医科大学 神経内科 入局

1985年 旧国立水戸病院 勤務

1993年 日立製作所日立総合病院 勤務

2003年 旧日立製作所多賀総合病院 勤務

2012年 笠間市立病院 勤務

2018年 茨城県立睡眠医療クリニック 勤務 現在に至る

近藤 英明 先生

1990年 長崎大学医学部卒業

長崎大学医学部附属病院 第一内科 入局

2003—2007年 秋田大学医学部神経運動器学講座 精神科学分野

2007—2019年 済生会長崎病院 睡眠医療センター

2017—2018年 九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター 助教

2019年4月より 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 准教授、
茨城県立こころの医療センター（非常勤）、茨城県立睡眠医療クリニック（非常勤）

◆◆◆ 講演抄録 ◆◆◆

睡眠時無呼吸症候群—あなたの眠りは良い眠りですか？—

武井 泰彦 先生

睡眠時無呼吸症候群と聞いて皆さんは何をイメージされますか？

第一に肥満やイビキそしていつも眠そうにして寝ている人ではないでしょうか？

日本呼吸器学会では睡眠時無呼吸症候群とは睡眠中に無呼吸を繰り返すことで、様々な合併症を起こす病気で、成人男性の約3～7%、女性の約2～5%にみられ、男性では40歳～50歳代が半数以上を占める一方で、女性では閉経後に増加するとされており。

またその歴史も古く英国の作家チャールズ・ディケンズの1836年作品の「ピックウィック・クラブ」と言う本の中に登場する少年が睡眠時無呼吸症候群と考えられます。

今回、古くて新しい病気である睡眠時無呼吸症候群の検査・診断・治療についてお話ししたいと思います。



口腔内灼熱症候群における睡眠障害

近藤 英明 先生

口腔内灼熱症候群（burning mouth syndrome：BMS）は明らかな器質的異常を認めない口腔内の異常知覚を主たる症状とする疾患である。従来、BMSは舌痛症とも記載されていた。心理的な問題も伴うことが多く、歯科・医科連携が必要である。本症では不眠や睡眠の質が低下している者が高頻度で認められる。本講演ではBMSと睡眠の問題に焦点を当ててこれまでの報告をレビューする。



※会場準備の都合上、参加希望者は2月23日までにFaxにて人数をお知らせ下さい。

Fax、問い合わせ先：029—291—6489（水戸さくら通り歯科 高根 正敏）

ICカードをご持参ください

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルフアー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

photo
Gallery



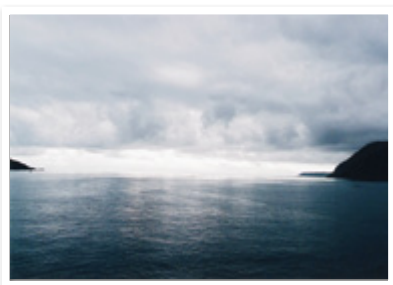
天気にもぐまれました。一年の内70日ぐらい雨風が強く、交通止めがあるそうです。



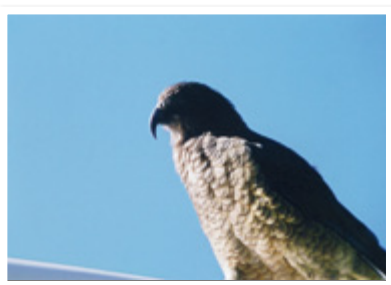
高さ1,000m以上に渡るミルクオードサウンド深谷



エヴェレス初登頂ヒラリー卿がマウント・クックを見上げているところです



いつも鉛色の南極海側



人懐こい鳥 KEA (ケア) です

(社) 茨城県南歯科医師会 斉藤 澄夫

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,153名
2種会員 69名
終身会員 124名
準会員 5名
合計 1,351名

会員数

令和元年12月31日現在

地 区	会員数(前月比)	
日 立	115	-1
珂 北	148	
水 戸	156	
東西茨城	73	
鹿 行	104	
土浦石岡	181	
つ く ば	133	
県 南	177	
県 西	154	
西 南	105	
準 会 員	5	
計	1,351	-1



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和2年2月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。